

特別の教科 道徳 学習指導案

- 1 主 題 生命の尊厳について考えよう
- 2 資 料 名 「100万回生きたねこ」 (きらめき)
- 3 ね ら い 生命には限りがあるということとともに、他者を思う心が自分の命を大切に思う気持ちに繋がることを理解する。
- 4 人権教育の内容 人権意識の高揚 (1) -ア
- 5 展 開

学習内容	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1 自分の生きる目的について考える	○ あなたは何のために生きていますか <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のため</li> <li>・ 将来のため</li> <li>・ 考えたことがない</li> </ul>	自由に発言させる中で、命について考えることを意識できるよう、意図的に生徒の意見を取り上げ、示唆をする。
本時の目標：自分にとっての幸せな人生について、考えを持つことができる		
2 資料を読み、猫の言動の背景にある猫の心情や生き返らなくなった理由について考える <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 100万回泣いた猫の考えを予想する</li> <li>・ 猫が生き返らなくなった理由を話し合う (グループ)</li> </ul>	○ 猫は100万回泣いているあいだ、どのようなことを考えたと思いますか <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっと大切にすべきだった</li> <li>・ 今までの分も泣きたい</li> <li>・ 今までの人生ももっと良い物に出来たのではないか</li> </ul> ○ なぜ猫は生き返らなくなったと思いますか <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の人生に満足した</li> <li>・ 生き返る理由がなくなった</li> <li>・ 悲しみが強すぎた</li> </ul>	パワーポイントなどを用い、全員で一緒にストーリーを共有できるように工夫する。  涙にも様々な理由がある。悲しみ、後悔、寂しさなど、色々な意見を拾い上げ、様々な捉え方を共有できるようにする。  他者の存在に着目できるように状況に応じて補助発問を出す。 <u>補助発問</u> ○ 猫の最後の一生とそれまでの一生はどのような違いがありましたか 自分の人生を豊かなものにするのは、他者との関わりが大きく関係することを理解させたい。
3 感想を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大切に思える人がいることが幸せにつながる</li> <li>・ 自分を好きになること、人を好きになることが大切だ</li> </ul>	猫の生き方から、自分にとって幸せな人生について考え、どんな生き方をしたいか意見を持たせる。